東京都建設局
東京のまちづくり

特集1　・台風シーズンに向けてもしもに備えよう ～河川における水防災情報の活用～
特集2　・小石川後楽園　花菖蒲を楽しむ
特別特集　・企画展「ゆめねつハーブ展」

令和元年東日本台風で増水した南浅川（八王子市）　東京消防庁提供

「川のフォトコンテスト2024」最優秀賞

小石川後楽園　ハナショウブ

No.197(５・６月号)は、令和７年３月31日時点の情報に基づき作成しています。

台風シーズンに向けて もしもに備えよう

～河川における水防災情報の活用～

雨が降り出したら

■台風や集中豪雨などの大雨時に川の近くに向かうことは大変危険です。パソコンやスマートフォンなどにより水防災総合情報システムや東京都水防チャンネルを確認し、川の状況をご確認ください。
■テレビやラジオ、インターネットなどで最新の気象や災害に関する情報を確認してください。
■周囲の状況に注意し、普段と異なる状況に気が付いた場合には、直ちに安全な場所に避難してください。

① 水防災総合情報システム※1

本システムでは、水防災情報をより分かりやすく発信するため、都内の雨量、河川水位、調節池の貯留率、氾濫危険情報、河川監視カメラ映像※2等をリアルタイムに配信しています。

大雨により川が溢（あふ）れるおそれがある場合や土石流・がけ崩れの危険性が高まった場合には、氾濫危険情報や土砂災害警戒情報等を発表します。

※1：アクセス方法
PC版：https://www.kasen-suibo.metro.tokyo.lg.jp/im/uryosuii/tsim0102g.html
スマートフォン版：https://www.kasen-suibo.metro.tokyo.lg.jp/s/tsim0401g.html
※2：5分更新の静止画ですが、24時間前まで遡ることができます。

水防災総合情報システム
スマートフォン版

水防災総合情報システムスマートフォン版

② 東京都水防チャンネル（YouTube）※3

都内の河川では、集中豪雨などにより急激に水位が上昇することが多いため、YouTubeを活用した河川監視カメラ映像のライブ動画配信を実施しており、河川の状況をリアルタイムで確認できます。

※3：アクセス方法
URL：https://www.youtube.com/@TokyoSuibou

東京都水防チャンネル
（YouTube）

東京都水防チャンネル

③ 東京都防災X（旧Twitter）※4

都の水防に関する情報をX（旧Twitter）でも発信しています。河川の氾濫危険情報や土砂災害警戒情報などの水防情報を画像とテキスト形式で迅速に視覚的に分かり易くポストしています。

大雨時における避難行動にお役立てください。

※4：アクセス方法
URL：https://twitter.com/tokyo_bousai

東京都防災Ｘ
（旧 Twitter）
（東京都防災）

東京都防災X（旧Twitter）
（アカウント名：東京都防災）

発信情報の例
（氾濫危険情報の場合）

川のフォトコンテスト2025 作品募集

東京都では、毎年「川のフォトコンテスト」を開催しています。このたび、東京の川の写真を募集いたします。多くの作品のご応募お待ちしております！

募集テーマ　東京の川の姿や川の魅力、川への親しみ・愛着を表現した都内の川の写真

●応募締切　令和７年６月６日（金）（当日消印・受信有効）
●応募規定　２Ｌ判以下又はJPGデータ（10ＭＢ以内）で１人２作品まで（未発表・未応募作品で、著作権・肖像権等で第三者の権利を侵害しないもの。過去に撮影した写真も応募可。）
●応募方法
郵送または応募フォームにてご応募ください。
【郵送先】
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
【応募フォーム】
https://logoform.jp/form/tmgform/869678
※応募の際は、作品名、河川名、撮影場所（住所）、撮影年月日、撮影者氏名（ふりがな）・住所・電話番号・メールアドレス（お持ちの方）を必ず明記してください。
※作品を郵送される場合は、上記情報を各作品の裏面に貼り付けてください。
※デジタル作品を郵送で応募する場合には、CD-R に保存しご郵送ください。

応募フォーム

応募作品は、パンフレットやカレンダー等の広報グッズ、作品の展示等、東京の川に関するＰＲ活動に活用させていただきます。
詳細はホームページをご確認ください。

建設局 HP

川のフォトコンテスト 2024（優秀賞）

問合せ先　河川部計画課　TEL：03-5320-5425

イキモノのイキな話 147

小さな灯・自然の光～ヘイケボタル～

多摩動物公園　昆虫園飼育展示係　碓田琉之亮

ホタルというと、夏の夜にきれいな川の上を黄色の光がふわふわと飛ぶ様子を思い浮かべると思います。

ヘイケボタルは小さな川や、田んぼに住んでいます。そのため、昔から人と距離の近い昆虫でした。

ヘイケボタルは成虫で８mmほどの大きさです。淡く優しい光を灯します。幼虫の時期は水の中で過ごし、貝などを食べて成長します。野生のヘイケボタルは７月から10月に成虫になります。しかし、成虫として生きている期間は10日ほどととても短いです。

多摩動物公園では冬もヘイケボタルの成虫を見ることができます。なぜ夏にしか見ることのできないヘイケボタルが１年中見ることができるのかというと、バックヤードで2000匹を超える幼虫を飼育しているからです。10基以上の水槽それぞれに200匹の幼虫が入っています。それぞれの水槽に入っている幼虫は生まれてきたタイミングが１週間ずつ違うので、成虫の期間が短いホタルを常に展示することができます。

餌となる貝も昆虫園で育てています。幼虫の成長段階に合わせた大きさの異なる貝を与える必要があるため、様々な大きさの貝を育てる必要があります。１年中観賞していただける多摩動物公園のホタルを、ぜひ見に来てください

動物園の“かお”

上野動物園
ガラパゴスゾウガメ

ガラパゴス諸島に生息している世界最大級のリクガメです。

甲羅の長さ1m以上、体重250kg以上になることもあります。

草食で、動物園では葉物野菜や牧草などをあたえています。